

“Children First の子ども行政のあり方勉強会”

2021/9th/FEBRUARY

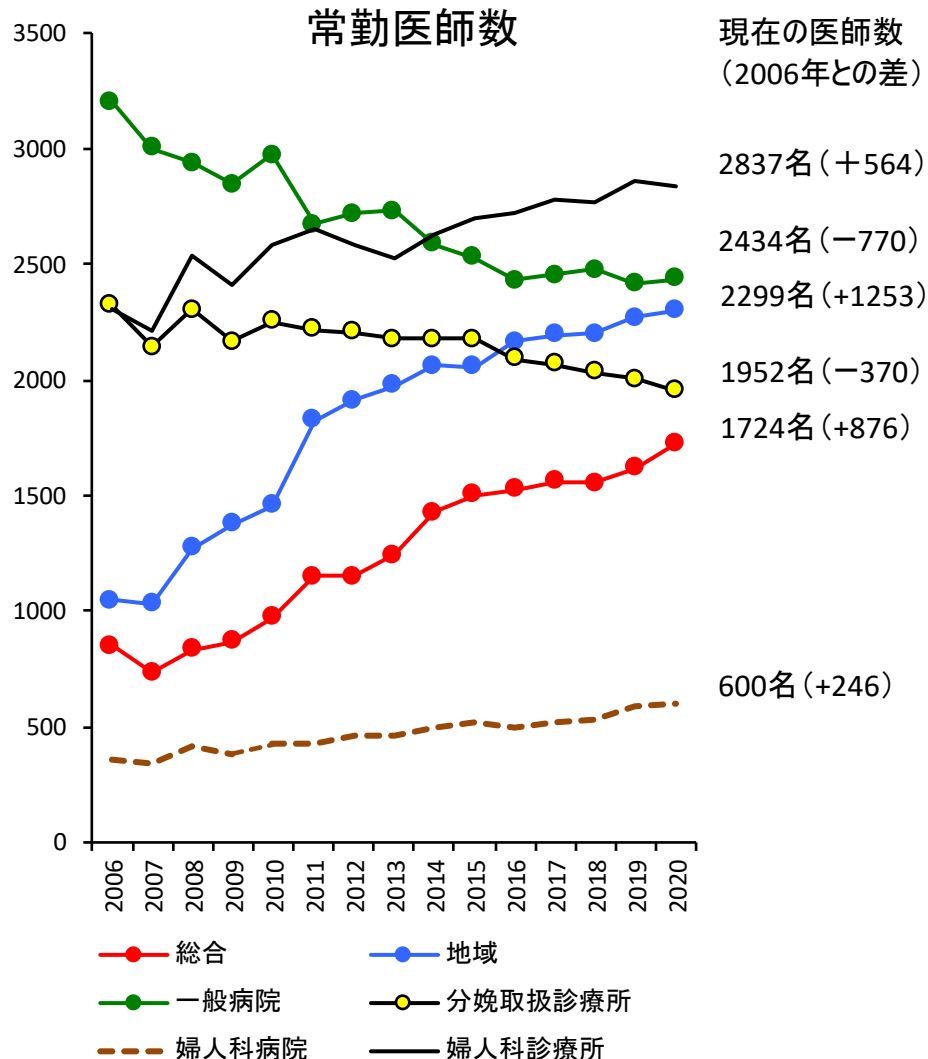
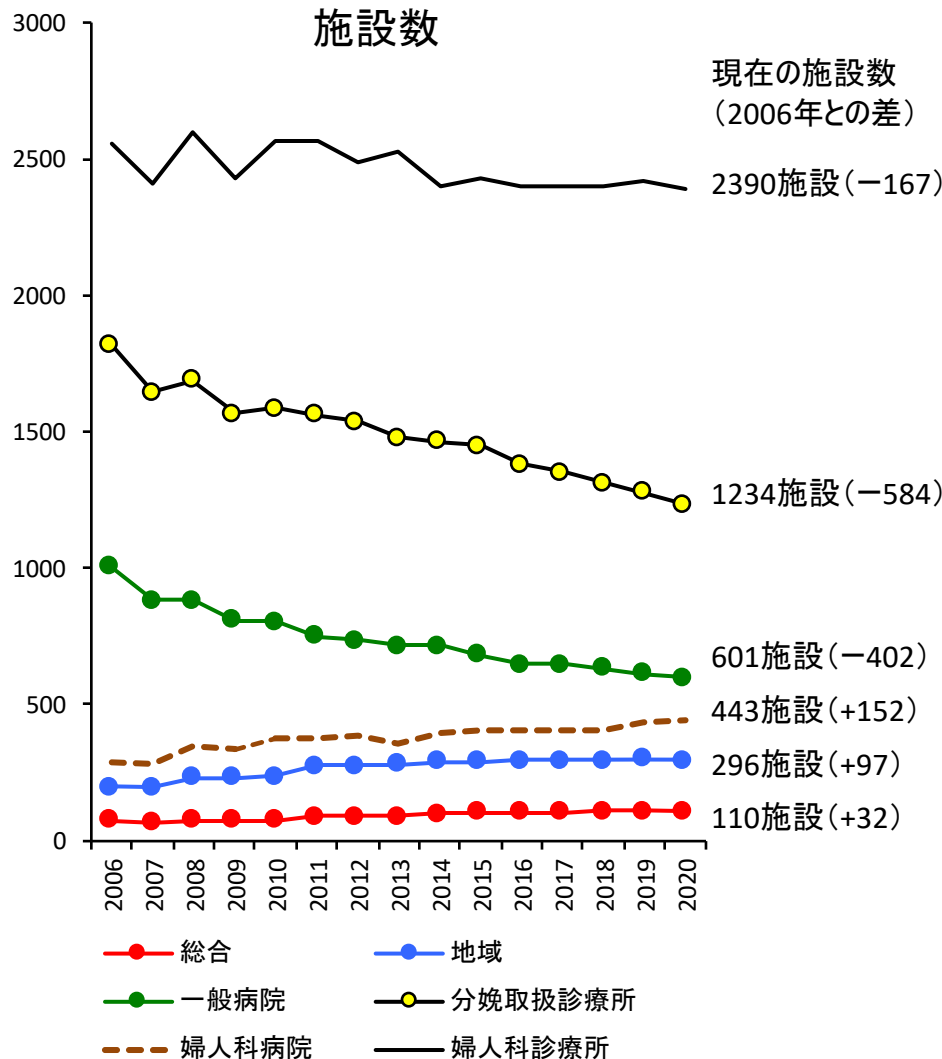
自由民主党 本部7階 701会議室

産婦人科の現状と取り組み
(セミオープンシステムと助産師外来,
院内助産システムを中心に)

日本医科大学
中井章人

産婦人科施設数と医師数の年次推移

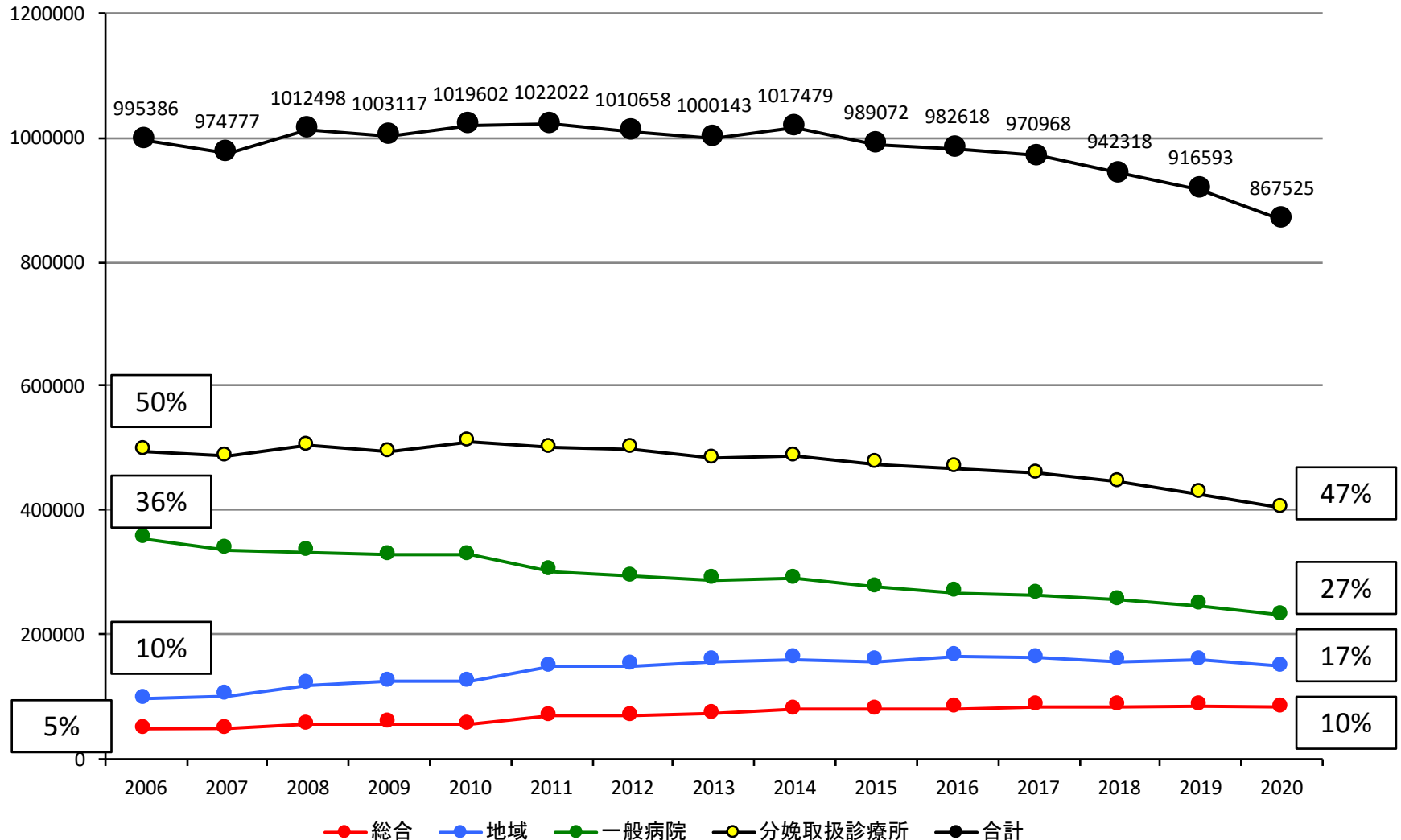
日本産婦人科医会施設情報調査2006-2020



14年間で、全体の産婦人科施設は15%減少し(2006年:5,946施設, 2020年5,074施設), 常勤医師数は18%増加したが(2006年:10,080名, 2020年11,846名), 施設数, 医師数とも**分娩**を取扱う**一般病院と診療所の減少が著明**であった。

取扱分娩数の推移

日本産婦人科医会施設情報調査2006-2020

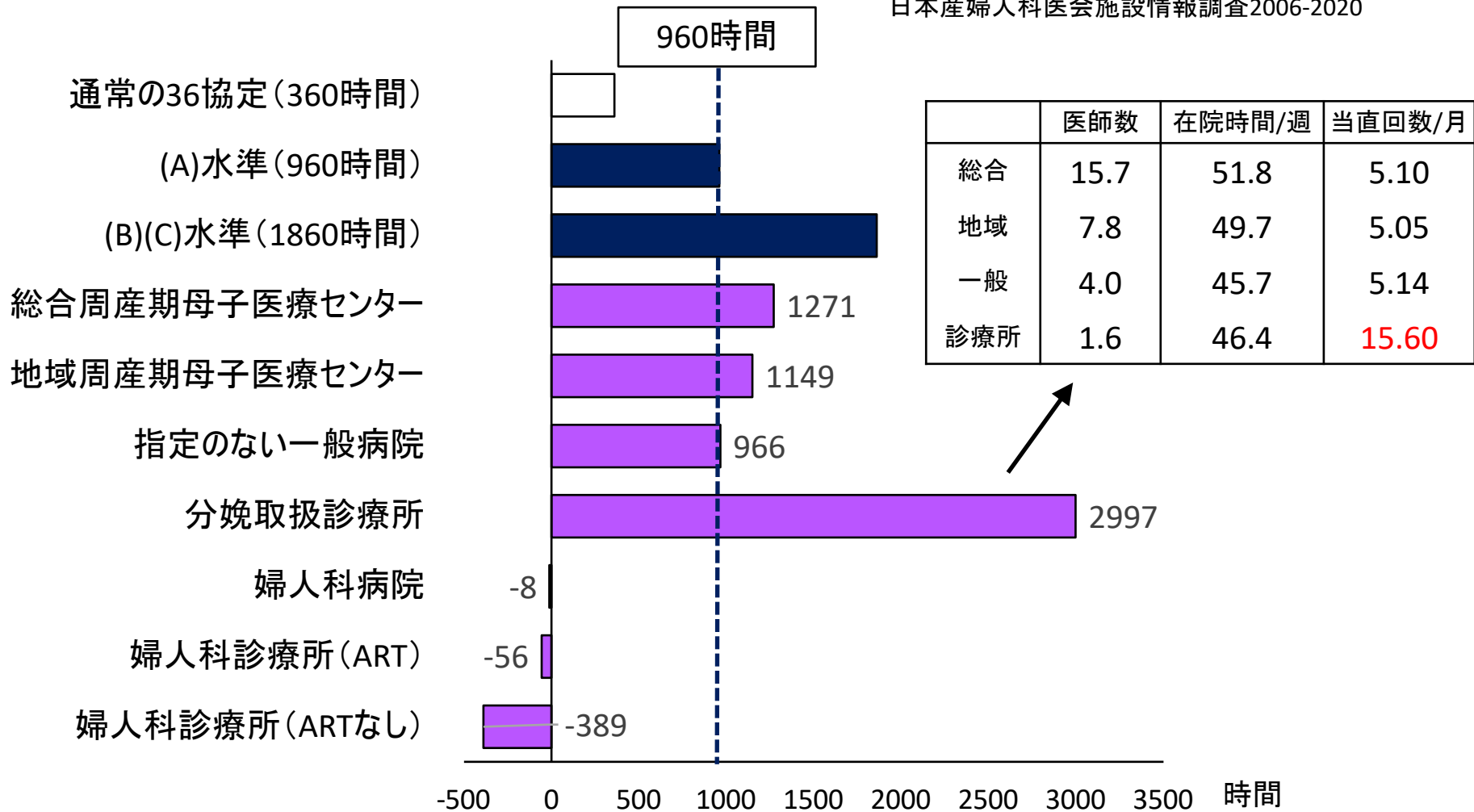


取扱分娩数は14%減少したが(2006年: 100万件, 2020年86万件), 14年前と変わらず約半数を診療所が取扱っていた. 一般病院の分娩数が約10万件減少し, **周産期母子医療センターとへの診療所への二極化が進んでいる.**

時間外労働時間上限(時間/年)と実際の時間外在院時間*

* 時間外在院時間: 法定労働時間より月の在院時間を198時間とし, 当直回数と当直を除く在院時間より算出

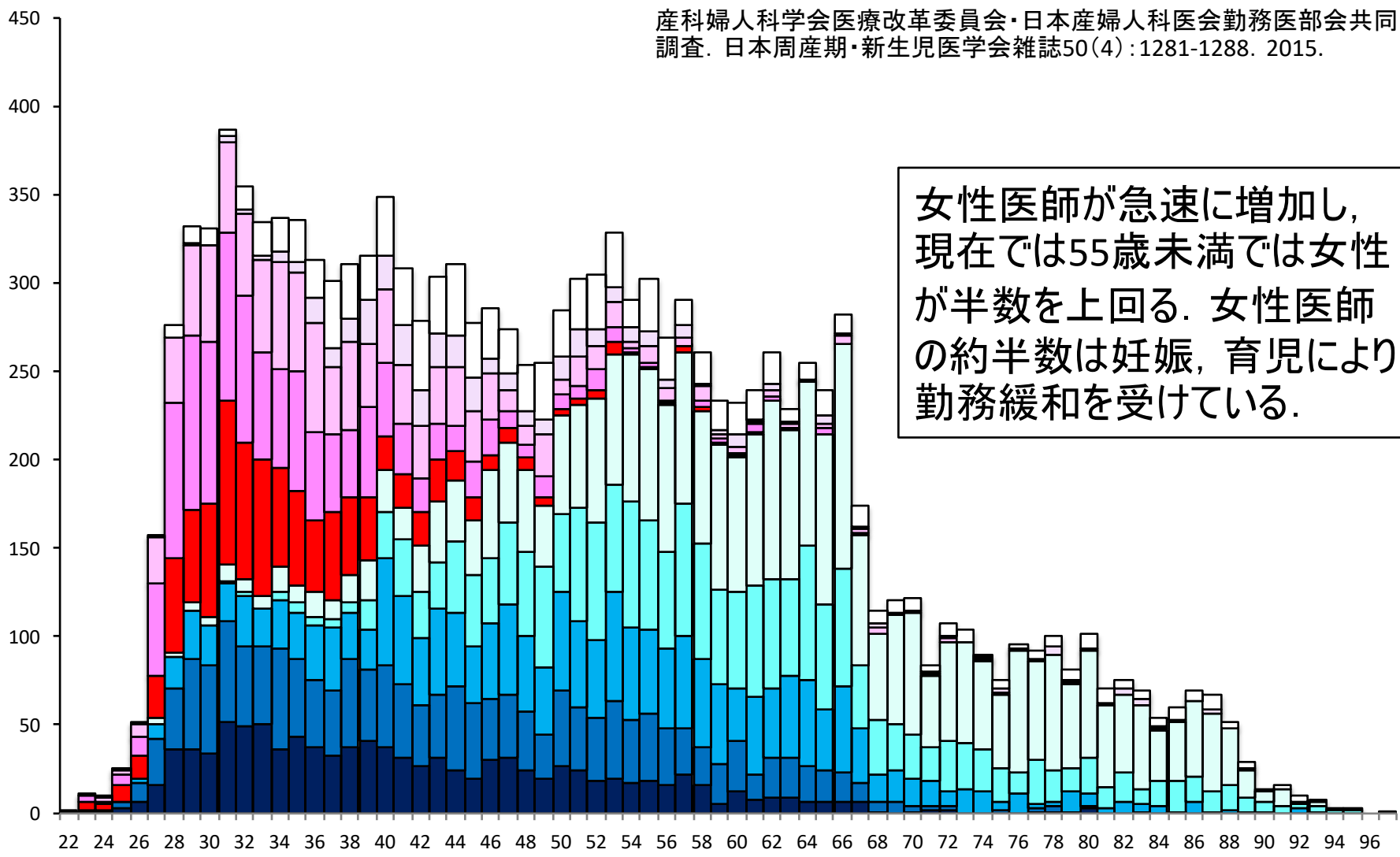
日本産婦人科医会施設情報調査2006-2020



分娩取扱施設では, 平均時間外在院時間がA水準を超えていた.
 分娩取扱診療所では, 当直回数が他施設の3倍に及び在院時間が延長していた.

医師数

中井章人、海野信也. 全国産婦人科医師の勤務実態に関する研究 日本産科婦人科学会医療改革委員会・日本産婦人科医会勤務医部会共同調査. 日本周産期・新生児医学会雑誌50(4):1281-1288. 2015.



女性医師が急速に増加し、現在では55歳未満では女性が半数を上回る。女性医師の約半数は妊娠、育児により勤務緩和を受けている。

■ 総合男性 ■ 地域男性 ■ 病院男性 ■ 診療所男性 □ 婦人科男性
 ■ 総合女性 ■ 地域女性 ■ 病院女性 ■ 診療所女性 □ 婦人科女性

日本産科婦人科学会学会員の年齢別・男女別・施設別分布

2015年6月現在

東京都の周産期医療供給体制

	東京都	23特別区	多摩全体	南多摩以外	南多摩
施設					
総数	603	462	141	93	48
分娩施設	164	112	52	33	19
分娩数(2018)	90,270	63,916	26,354	17,174	9,180
(%)	100%	70.8%	29.2%	19.0%	10.2%
常勤医師					
総数	1,628	1,293	335	232	103
(対千分娩)	(18.0)	(20.2)	(12.7)	(13.5)	(11.2)
分娩施設	1,028	791	237	169	68
(対千分娩)	(11.4)	(12.4)	(9.0)	(9.8)	(7.4)
分娩施設助産師					
総数	2,770	2,158	612	451	161
対千分娩	(30.7)	(33.8)	(23.2)	(26.3)	(17.5)

平成30年度東京都周産期医療協議会(2019年3月)
日本産婦人科医会施設情報調査2019(2019年1月現在)

協働(連携システム)

施設外の協働

- ・地域クリニカルパス
- ・ITCを利用した広域ネットワークシステム
- ・施設機能に応じた地域連携
- ・子育て世代包括支援センターなど社会的システム
- ・**セミオープンシステム**

施設内の協働

- ・タスクシフティング
看護師, 薬剤師, 医師事務補助, MSWなど
- ・**院内助産・助産師外来**
助産師との協働

セミオープンシステム, 院内助産・助産師外来はタスクシフティングの一端ともいえるが, その本質は, **より密度の高い(安心と安全を兼ね備えた)医療サービスを提供するものである。**

母と子のネットワーク2007年

妊産婦

日本医科大学多摩永山病院

ハイリスク

ローリスク

院内管理

連携施設

日本医科大学多摩永山病院

母と子のネットワーク



お名前

★ネットワーク参加施設 ()
診察券番号 ()

日本医科大学多摩永山病院
診察券番号 ()

皆様へのお願い

①この健診手帳は、皆様の健康状態を知る大切な記録であり、診察のときには**必ずご携帯**いただく必要があります。お近くのクリニックや病院で健診をお受けになる際も、緊急時・分娩時に日本医科大学多摩永山病院を受診される際も**必ずご提示**ください。また、検査データも必ず添付しておいてください。

②分娩のために来院される場合は、まずお電話でご連絡ください。また、外来時間外に緊急受診される場合も、必ずお電話でご連絡くださいますようお願い致します。

ネットワーク参加施設

施設名

住所

電話番号

日本医科大学多摩永山病院 女性診療科・産科

☎ 206-8512 東京都多摩市永山 1-7-1

①緊急時・分娩時

母子センター直通 042-353-8256

②産科外来予約（日曜・祝日・年末年始を除く午後2～4時）

（代表）042-371-2111

→女性診療科・産科外来（内線2207）

母子手帳に超音波所見、検査・処方、特記事項を追加

特記事項																			
健診 月日	妊娠 週数	子宮底 長	腹囲	血圧	浮腫	尿 蛋白	尿糖	体重	胎位 児心拍	児頭 大横径	大腿骨 長	推定児 体重	羊水 ポケット	頸管長	備考	検査	処方	診察医	
母子健康手帳内容										超音波所見					備考 検査 処方				

院内助産・助産師外来の流れ

地域パス

双胎(心拍確認時)
早産(18-28週頸管長測定)
前置胎盤(妊娠20週前後)
胎児機能検査(羊水量チェック)

外来初診

医師外来

* 医師によるリスク分類

ローリスク

ハイリスク

セミオープン診療

* ローリスクで患者が希望すればネットワーク診療

陣痛・破水など
分娩開始

院内管理

医師・助産師外来

* ハイリスクであっても助産師外来を利用し、保健指導をうける。

医師一ヶ月健診

院内助産システム

助産師産後健診

入院の決定

* 入院基準に従いセンター入室を決定する

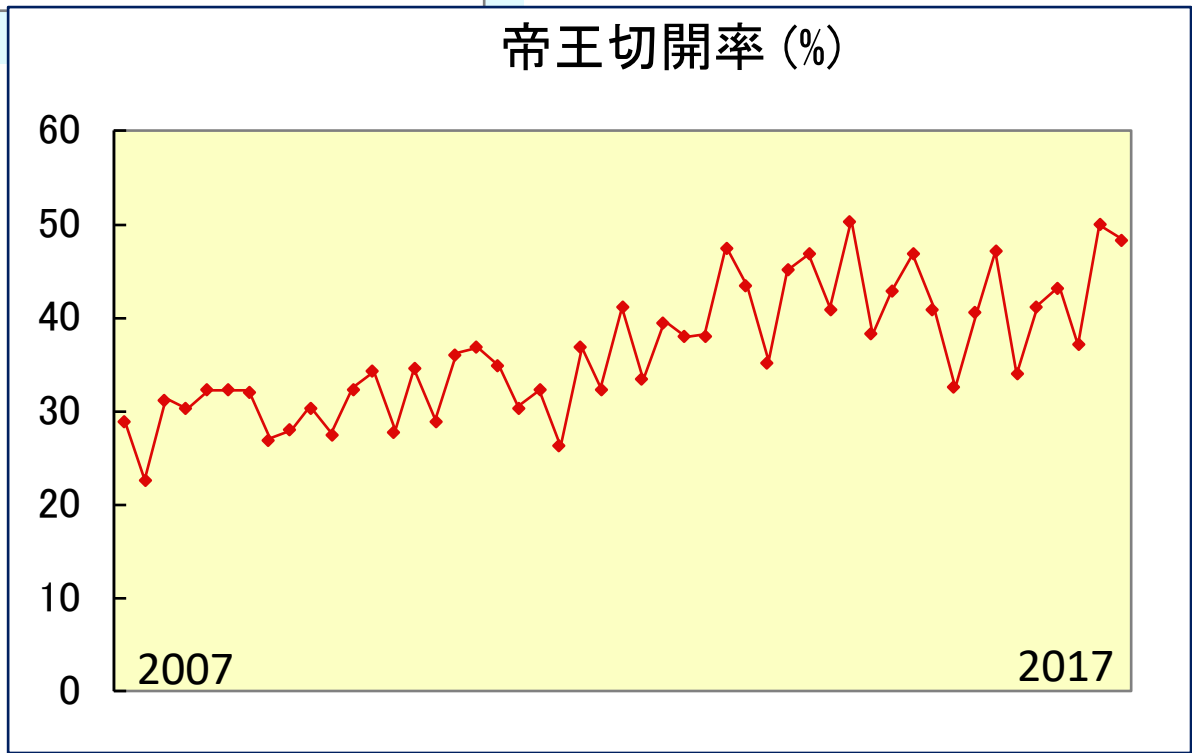
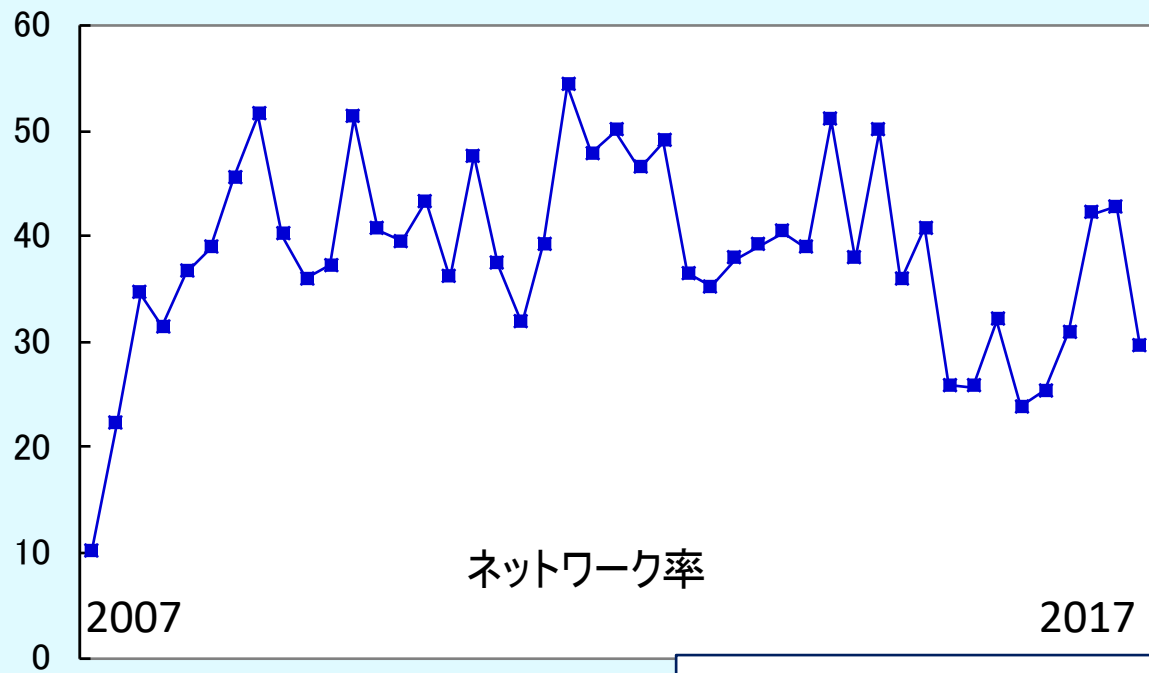
* 入院時医師連絡基準

* 分娩経過中医師連絡基準

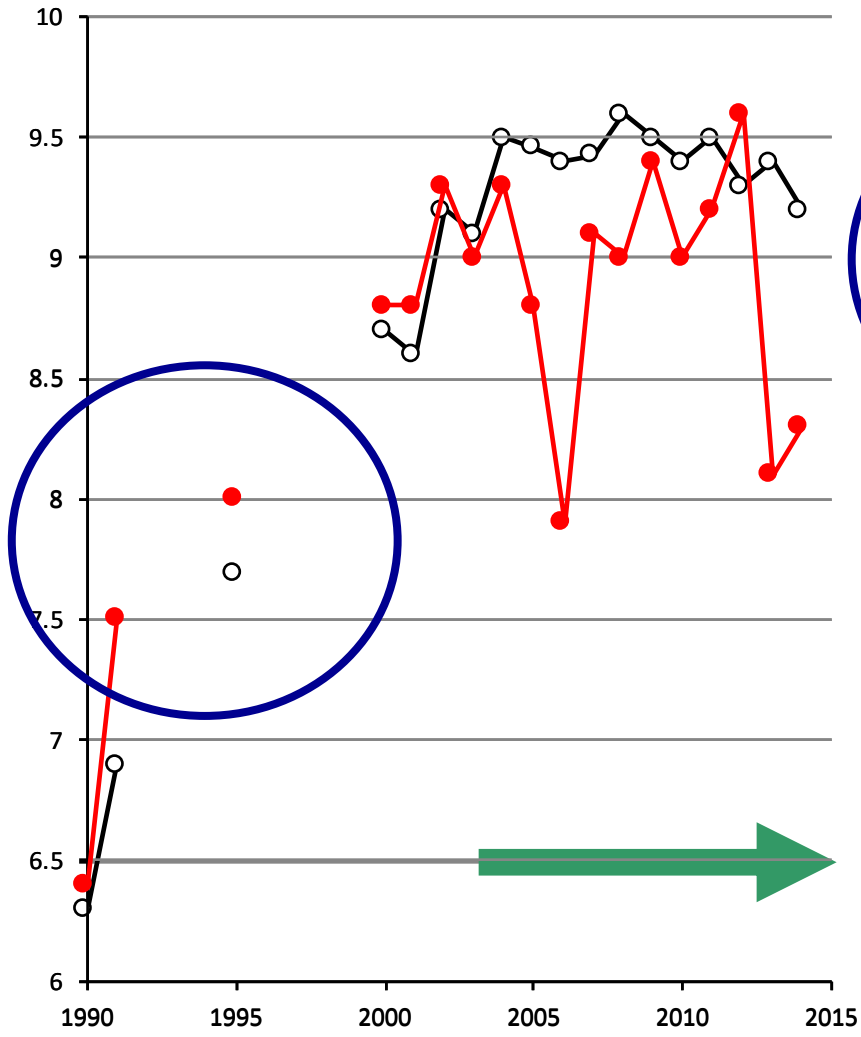
助産師産後
電話訪問

分娩

* 分娩時医師連絡基準

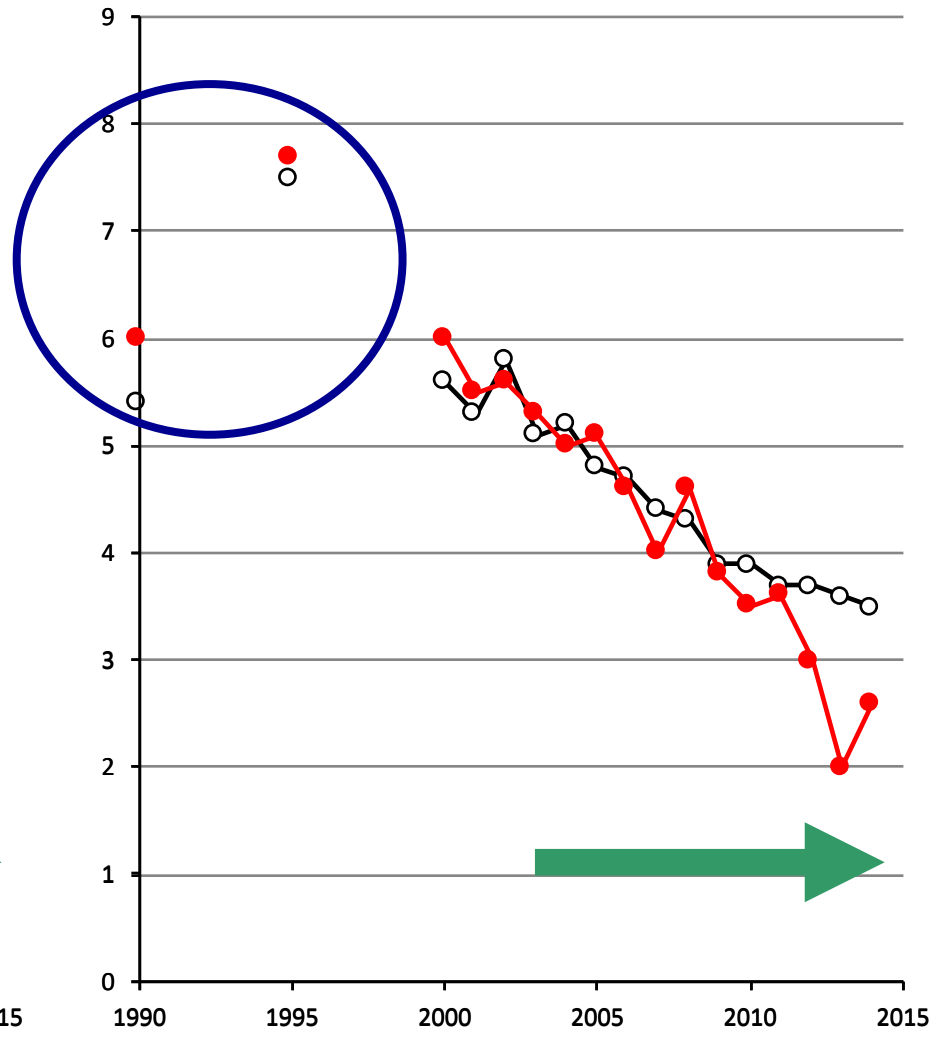


低出生体重児の推移



東京都全体

周産期死亡率の推移



南多摩医療圏

まとめ

現状と働き方改革への対応

- 医師は増加しているが、分娩取扱施設の年間時間外労働時間は平均で960時間を超えている。
- 周産期母子医療センターなど大規模施設では、これまで続けてきた勤務緩和システムやタスクシフティングの実効性を高め、今以上に在院時間を圧縮する必要がある。
- 常勤医師数の少ない中規模、小規模の施設では、非常勤医師を含めた医師確保が重要で、施設外オンコールの導入や宿日直許可の取得なども考慮し、他施設からの応援(非常勤)医師が出向しやすい環境を創造する必要がある。

地域や助産師との協働

- セミオープンシステム、助産師外来、院内助産システムは、タスクシフティングのためではなく、より密度の高い(安心と安全を兼ね備えた)医療サービスを提供するものである。
- 施設機能に応じたリスクの分配と施設内における他職種との協働は、時間外労働時間の短縮のみならず地域の医療水準の向上をもたらす可能性がある。
- これらを円滑に行うため、行政における「子ども家庭庁」設置など支援の強化が望まれる。